

委員会等の会議録

1 会議名	第5回愛南町学校統廃合検討委員会	
2 議題	(1) グループ協議について (2) その他	
3 開催日時	令和3年3月25日(木) 19時00分から20時30分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 第2会議室	
5 傍聴者数	※非公開会議	
出席者		
6 委員	出席 18名 欠席 2名	
7 担当所属	所属名	学校教育課
	担当職員 (職・氏名)	教育長 中村 維伯 課長 岩井 正一 課長補佐 近田 幸信 係長 本多 大輔
8 その他の出席者	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
近田課長補佐	定刻となりましたので、ただ今から第5回愛南町学校統廃合検討委員会を開会します。
委員長	(開会あいさつ)
近田課長補佐	(本日の資料の確認) それでは、早速協議事項に移ります。ここからの議事進行につきましては、委員長にお願いします。
委員長	それでは、これまでの議論について、岩井学校教育課長が御説明します。
岩井課長	<p>それではグループ協議の前に、資料で私のほうから、説明をさせていただけたらと思います。</p> <p>前回、これを皆さんにグループ協議をしていただきました。こういった形でやっていただきました。それで、グループ協議の中とか、アンケートからとか、そしてまた、去年の学校運営協議会の方々の意見とかいうものも、いろいろ聞かさせていただきましたりさせていただいたら、大体、大筋といいますか、代表的な意見はこういったところかなっていうのをまとめてみました。</p> <p>それが、色つきの中なんですけど、統合することで、やはり解消されたり、また、いい形になっていくんじゃないかっていうのがこういった意見が代表的だったというふうに思います。</p> <p>部活のことであるとか、個人が対象であったりですね、また、集団グループ活動といったものが、可能性があるんじゃないかとか、学習意欲の高まりとか、向上心とか、友達がふえたり、関係が深まったりっていうようなことが、代表的なものだったかなと思います。</p> <p>とはいえ、やはり不安な要素がありますよと、環境の変化といった問題が影響がないのかなとか、通学の負担がふえるようとか、やっぱり地域との関係の気まずさとか、そういった意味になるんじゃないかと思います。</p> <p>また子供たちにとって、目が行き届かなくなったり、こまめな指導が出来なくなるとか、活動の場が今たくさんあるのに、それが少なくなったり経験も少なくなるんじゃないか、みたいなことが多かったんじゃないかなと思います。</p>

	<p>また、そういう中で、統合にしても、タイミングとか計画性とか、そういったものが必要なんじゃないかっていう意見もあったというふうに認識しております。</p> <p>そこで、そういったこれまでの議論等を聞かせていただいて、記録なんかを見させていただいて、事務局側で見たのでは、総論的には統合の方向で、この検討会を進めていったんでいいんではなかろうかというようなところ、皆さん頭の中に思い浮かべてるんじゃないかというふうに考えております。</p> <p>そこで、この総論のところを委員長より皆さんにちょっと御確認いただけたらと思うんですが、その辺よろしくをお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>失礼します。</p> <p>皆さんは5回目の議論、会議となりますが、これまでの流れから総論として、統合の方向で検討を進めるということにしたいと思いますが、この流れでよろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ、拍手をお願いいたします。(全員拍手)</p> <p>ありがとうございました。</p>

りケアしてもらうような対応を今までもしてきました。

それで、あともう一つ考えられるのは、教育支援員の配置、複式学級のある学校には全て1人ずつですけれども、複式学級支援員っていう、形で配置しております。

そういった方もそういった統合先の学校に配置できるんじゃないか、これは予算も伴うので、その辺は理事者とか、財政当局とも相談が必要ですが、ある一定期間、そういった部分で対応が可能ではないかなというふうに感じております。

そして通学負担については、今までどおりのスクールバスを増やすとか、交通機関コミュニティーバスであったり、宇和島自動車であったり、そういう使えるものを使うとか、それで今度、それ以外どうするかという、選択的に例えば、皆が集合できる場所まで自家用車とか、今、特にはやってないんですけれども、例えば自転車であったりとか、そういう選択的なところを考えていかねければならないと思います。

あと、配慮を要するお子さんがいたりしたときに、また特別な、対応の仕方も、ケースによっては考えてはどうか、考えてみました。

これはあくまでもこちらで考えただけなので、こんな現実的ではないと、もっといい方法こんなんじゃないかっていうようなことがあれば、ぜひぜひ皆さんの中で話し合っただけならと思います。

地域との関係なんですけれども、学校においては、年計画の中に地域ふるさと学習で、地域に出向いて学習するっていうところ、統合前の学校に行くとか、クラス別で計画的に出向くとかも一つの案だなあとかいうふうに感じたりはしております。

あと、公民館にもまだまだ公民館の機能っていうのが、改めて、活性化していくことが必要だと思うんですが、公民館を積極的に使っていくとか、地域においては、そういった、子供たちがそういった学習で交流するときには、積極的に足を運んでいただいくとか、そしてまた、コミュニティスクールにおける学校運営協議会に地域の方も、参画していきたいというようなことが可能なんじゃないかなっていうふうに考えてみました。

で、そういったところをまず皆さんで、意見を出し合っただいて、その次に、先ほど言ったピンクの部分になりますけれども、タイミングですね、5年以内っていうのをちょっとこちらからテーマとして、協議の中で考えていただけたらと。早くいくべきとか、一定の期間をやっぱり持つべきとか、小学校と

	<p>中学校じゃこうなるんじゃないかというところもあるのかなって。やはり、統合したとしても、その後っていうのもやはり考えられるので、子供の推移からいくと、そういった目安とするみたいなどころも、もし意見があれば、枠組みとしては、中学校を1校なのか、2校、3校なのかとか、小学校は2校が3校かとか、また旧町単位だとか、そういった話もしていただければんじゃないかなと思います。</p> <p>そして、特認校制、ここの学校については、校区を定めずによそのほうからきても、いいですよっていうなどこに行こうっていうのがあったりするんですが、そういう方法で、地域の残った学校は少しで、統合した後で特徴を持たせるというのも一つの案かなというふうに感じました。</p> <p>これは、先ほど言ったようにあくまでもこちらで勝手に考えてるものなので、また皆さんで、これらも含めてまた新たな案なんかも含めて、やっていただきたらと思います。</p> <p>そういう話合いで出た案を、またこちらでもいろいろ考えて組立てていって、先ほどの青い不安な部分、課題っていうのが少しでも、薄まれば、完全にこれ消えることがないとしても、少しでも埋まっていければ、また次につながる議論に、進んでいくんじゃないかなというふうはこちらで考えております。</p> <p>それでは、私のほうの最初の説明は終わらせていただきます。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>説明が終わりました。何か質問などはありませんでしょうか。なければ、続きまして、グループ協議に入ります。</p> <p>ここからの進行につきましては、副委員長が行います。</p>
副委員長	<p>失礼します。</p> <p>前回とても和やかな雰囲気でも協議していただき大変うれしく思います。今回もぜひ活発の意見を出していただき、グループ協議をよろしくお願いします。</p> <p>それでは、前回のように進行役の指示に従っていただきながら進めてください。</p> <p>先ほど、事務局から説明があった青い枠の部分である課題や不安等に対応するためのアイデアなどを付箋に書き出してください。グループワークとしてまとめてください。</p> <p>20分程度でお願いいたします。</p> <p>次に、ピンクな部分である統合に関するタイミングや枠組み</p>

	<p>なども同じ流れでお願いいたします。これも 20 分程度でお願いいたします。</p> <p>その後、グループごとに話し合った結果を活用していただきます。</p> <p>御質問等はありませんか。</p> <p>それでは、早速始めてください。進行役の方、よろしく願いいたします。</p>
委員全員	<p>(3 班に分かれてグループ協議を行う。)</p>
副委員長	<p>時間になりました。よろしいでしょうか。それでは、1 班から発表をお願いします。</p>
委員	<p>失礼します。</p> <p>私たちのグループはそれぞれの課題に対して、自分たちの意見をいただきました。</p> <p>基本的には教育委員会さんが考えているような、案と同じような意見もやっぱり重なって出ています。それ以外のほうをちょっと紹介させていただいたらと思います。</p> <p>子供たちに目が行き届かなくなるんじゃないか、それから細かな指導が出来なくなるんじゃないかということ、新しい環境に子供たちがちゃんと慣れるかどうかということ、もう一つはやっぱり、スクールカウンセラーさんとか、子供たちの心の面をケアする人もいるんじゃないかというような意見が出ました。</p> <p>それから、地域との関係性が希薄になるっていうことをやっぱりどういうふうな方法で、守っていくかっていうのはやっぱり相当知恵を絞って、やっていかないといけないしやっぱ地域の方も積極的に、保護者も積極的にそういうところに協力してもらわないといけないというふうに思います。</p> <p>通学の負担については、やっぱりいくつか方法を示していただいて、それを保護者のほうで、選択できるような形をとってもらいたいかなというような意見も出ました。</p> <p>あと、もう一つ通学距離とかが長くなりますので、保護者のほうで途中まで迎えに行くという。例えば中学校で部活動が終わりました、暗くなりました、帰っています。子供は何時に学校を出たんだろうかっていうのを、保護者と何らかの形で連絡取る方法みたいな。何部が練習が終わって、何時に学校出てま</p>

すっていうように、保護者のほうにメールが入るとか、何かそういう連絡方法とかも、あるとありがたいなというような意見が出ました。

それが、地域の中もあれなんですけど、防災についても、校区が広がると、なかなかその辺が弱まっては何のために統廃合していくのかっていう、防災の問題も絡めて、ひとつ考える必要もあるかなという意見も出ています。

一つ目のテーマについては、以上です。

二つ目なんですけど、5年以内にといい、一つ提案をいただきまして、どういうふうなことが考えられるかということで、小学校のほうは、旧5カ町村それぞれ残すとしたら、小学校まず5校、西海地区が非常に少ない。

それを、どうするのかっていうと、中学校が実際に今、御荘中学校のほうに、登校していますので、第1段階として小学校もその御荘中学校に行く、平城とかの御荘地区の学校に通うようにしとって、それから中学校に滑らかに上がるような、そういう方法も一つ提案してみるのはどうだろうか。

それから内海は、今は二つの学校が一つになって、なんとかなるけど、今後考えないといけないだろう。

篠山のほうは、宿毛と愛南との関係もあるだろうというようなことが出ました。

小学校のほうは、保護者の意見聞きながら、そういう四つ五つあたりのところから、まず手をつけて、そのあとまた次の段階が一つの案です。

中学校のほうは、5年以内を目途に、第1段階として、2校とか、3校ぐらいにして、そのあとまだ何年後かに1校にするというのはどうだろう。

例えばその2校ぐらいにした場合も、ある程度その選択制、部活動とかいろんなもんあるであろうから、どっちの中学校に行きたいかっていうのも多少、選択制を残してもらってことはどうだろうかという意見、もう中学校は一つでもいいんじゃないかという意見もありました。

一つとなった時には、小学校もそうなんですけどこの通学の負担のことを考えると、寮のような機能を持ったものも今後検討していく必要があるんじゃないかという意見でした。

以上です。

副委員長	<p>ありがとうございました。 続きまして、2班の方、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>失礼します。2班です。 前回よりも、いろんな意見がたくさん出ました。 まずは、左側の課題、心配事に対する対応は、やっぱり基本的な先ほど委員会のほうで例示していただくようなことが多くて、それ以上の中でも多くはなかったんですが、その中で、地域との関係の希薄化・衰退ということについては、子供と地域とのつながりというのは、学校が担う部分があるんですけど、一方で、やっぱり地域が子供と積極的に関わるといって、例えば、地域の祭りだとか、行事だとか、そういう形で地域がやっぱり頑張れば、学校があるから、それから遠ざかっても、そういうつながりというのは、維持することができるんじゃないかとそれが本来のものやないかというような、御意見が複数出ております。</p> <p>それから、環境の変化による影響というところ辺は、これについては、統廃合がある程度計画が決まったら、それに合わせて計画的に交流を、事前の交流をやっぱり進めていく。小学校1年生であっても就学前から保育園の段階で交流を進めるとかいうことをすれば、かなり軽減されるんじゃないかということが出ました。</p> <p>それとか統合した後も、やっぱり一人一人に目を配ってアンケートを定期的にアンケートなどとして、子供たちはどう感じているかという、今はICTも進んでいるので、そういうものを使えば、簡単にそういうことの、そういう意識を把握できるんじゃないかということでした。</p> <p>通学の負担については、バスとか自転車しかないかということなんですけど、やっぱりそれでも小学校低学年にはバス通というのは負担じゃないかと思いました。</p> <p>やっぱり、統合と考えたときに、その形でそれだけ近くの学校で、その時間が短くなるようなというのが理想じゃないかということでした。</p> <p>それからあと、統合についての枠組みやタイミングというところなんですけど、まとまってということではないんですけど、意見として多かったのは小学校については、旧町村で1校ないし2校ぐらいじゃないかということが御意見としてありました。</p>

	<p>そして中学校については、2校というのもあったんですけどここらも、ちょっと意見としてまとめたものではありません。</p> <p>それから、あとタイミングとか統合の仕方なんですけど、これもやっぱり1番大事なのは、地域の方、保護者の方と十分に話し合いの中で進めていくこと。</p> <p>仮に、例えば複式が一つの基準になるとか、1学級の中で何人以下になったらそれが、どうとかって言っても、それが難しいかもしれない。</p> <p>それが完全な統合の条件として、設定できるものでなければ、保護者が十分納得したものでないと。いけないじゃないかというような意見があったように思います。</p> <p>以上でございます。</p>
副委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後に、3班の方、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>はい3班です。</p> <p>初めに、出たのが小学校の交流学习、これをもっと長期間にしていく一定期間、例えば1カ月とか1学期とか、本当に交流を統合を視野に入れた目的にしたそういったこと出来ないか。ただ、カリキュラム的にはとても、難しく、長期間、二つの学校を一緒にするのは大変だろうなど、修学旅行や交流学习や行事等も含めてそういった交流とにかくどんどん進めてそういった中でも課題が次々見えてくるんじゃないか。というところでは、やはりできる範囲でそういったものをどんどん進めていく必要があると思います。</p> <p>通学は、今までたくさん出たということで、地域の地域との連携のところでは地域もやっぱりこう、今の地域の在り方でいいのかっていうところをやっぱり十分考えてこれから考えていく必要がある。統廃合をきっかけに地域はどうしたらいいのか。ともに考えて欲しい。どうしても地域は、前年度、今までこれをやりましたから、この当時も同じ行事をするとか、同じ活動、それではやっぱり今の子供たちが減った、あるいは学校がなくなった。じゃあ、どんなことをしていくかっていうところ、しっかり考えて、一緒に考えていくっていうことです。</p> <p>二つ目の課題は、5年後の学校なんだということでしたが、なぜこれ5年を出したのかっていう理由づけがやっぱり必要だな</p>

	<p>と思います。</p> <p>一つは、やはり出生数を今思っ、今現在わかっている出生数で、このときの学校であるかというところであることを説明する必要があると思います。</p> <p>小学校中学校でどんなふうに学校統合していくかという、いろんな意見が出て、まとまったわけではないんですね。</p> <p>最終的には、小学校1校、中学校1校ぐらいの人数、子供たち子供の数がいないので、それぐらいにはなっていくだろうけども、やっぱり段階で、あるいは目安をもって統廃合を進めていきたい。</p> <p>そういった情報をとにかく早く保護者のほうに伝えていくことが大事だと思います。</p> <p>5年後とすると旧町村に、あるいは中学校が2校で、小学校が旧町村に1校、中学校が2校あたりが適当かなと思ってるんですけど、なかなかその辺りも難しいところではあります。</p> <p>10年後にしても、中学校、多分1校で十分になるだろう。やったらもういきなり、1校でもいいですし、間とって7年後に1校でもいいのかなというような意見も出たりとか、なかなか難しいいろんな課題があるとは思いますが、5年後という形で考えた通りでございます。</p> <p>以上です。</p>
副委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで一度、岩井課長にお返しします。</p>
岩井課長	<p>失礼します。</p> <p>皆さんグループ協議ありがとうございました。</p> <p>皆さんのグループ発表を予測してといいますか、そういったところも、思いながら、ちょっと、事務局なりに、今後のことを、考えてみました。</p> <p>黄色の部分で最初説明したような、統合する必要性・意義とかという、この黄色の部分が、こういう丸く固まって、そして、ピンクの部分、皆さん、先ほどいろんな、御意見、アイデアを出していただいて、次回につなげていけるな、もう少しまとまった、考え方をお示しできるんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>皆さんの出されたアイデアをもとに、やはり統合に関しては、理解を得られる。まず、いろいろ地域の方とか保護者の方にも、</p>

	<p>理解が得られるような答申っていうものを、また一緒に皆さんと考えていけたらなというふうに感じております。</p> <p>それで、次回については、また、今日、いただいているような要素をもとに、骨子的なものをお示ししたいというふうに思っております。</p> <p>その次については、また素案となるようなものをお示してまたいろんな意見をいただきたい。というふうに考えています。</p> <p>そして、6月を目途にという話でしたので、その辺である程度まとまったものを見ていただいて、最終的に修正等を、御意見をいただいて、加えて、皆さんでまた、了解いただけるかどうかという方向に立っていただけると、こちらとしてもありがたいかなというふうな、ことを思っております。</p> <p>本当に今日は、はたで、聞いたり、発表も聞きましたけれども、非常にこちらも、すごく、アイデアといいますか、次、こういうふうに考えたらいいのかなっていうふうに思っております。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
副委員長	<p>以上でグループ協議を終了いたします。</p> <p>進行にお返しします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
委員長	<p>その他に移ります。</p> <p>その他ということで、何かございませんか。</p>
委員	<p>〇〇地域の〇〇です。</p> <p>この3月で役員が変わる人がおると思うんですが、その点、6月までということなんで、はっきり、後任とか、現在の人になるかいうことをはっきりしてもらったほうがいいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
岩井課長	<p>〇〇の中にも、退職される方もいらっしゃるって、そういった役員さんのことも、こちらも、確かにそうだなというのを持っておりましたが、途中で、変わられると、また振出しといいますか、これまでの議論していただいた部分がありますので、ぜひ、そのまま、この答申が出るまで、引き続いてお願いします。</p> <p>以上です。</p>

中村教育長	<p>私もですね、前回と今回、特にこういうふうなグループ協議をしていただいて、様々な本当にこちらとしてはそういう視点があったんだなという、すばらしい意見をいただいています。</p> <p>ぜひ、答申までですね、このメンバーでお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>そのほかございませんでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>皆様、大変御苦労さまでした。本日の御意見は、今後の参考とさせていただきます。貴重な御意見、協議ありがとうございました。それでは、以上で全ての協議が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
近田課長補佐	<p>それでは、閉会あいさつを副委員長が申し上げます。</p>
副委員長	<p>(閉会あいさつ)</p>
近田課長補佐	<p>副委員長、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第5回愛南町学校統廃合検討委員会を閉会します。</p> <p>本日は大変お疲れさまでした。</p>